



2021年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年7月13日

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ
コード番号 3174

URL <http://www.happiness-d.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田 篤史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 追川 正義

(TEL) 03-3562-7521

四半期報告書提出予定日 2021年7月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第3四半期の業績 (2020年9月1日~2021年5月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	14,228	10.4	58	16.7	51	41.8	28	—
2020年8月期第3四半期	12,887	△19.6	50	△90.0	36	△92.6	△182	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	11.05	10.64
2020年8月期第3四半期	△73.45	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	10,221	2,329	22.0
2020年8月期	10,419	2,340	21.6

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 2,255百万円 2020年8月期 2,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年8月期	—	8.50	—	—	—
2021年8月期 (予想)	—	—	—	6.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年8月期の業績予想 (2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,662	6.2	△48	—	△61	—	△88	—	△34.70

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 通期業績予想の修正につきましては、本日(2021年7月13日)公表しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期3Q	2,560,600株	2020年8月期	2,544,800株
② 期末自己株式数	2021年8月期3Q	12,499株	2020年8月期	14,999株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期3Q	2,535,293株	2020年8月期3Q	2,479,426株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症が再拡大し、1月には第2回緊急事態宣言、4月には第3回緊急事態宣言が発令され、当社の多くの店舗は、4月下旬から5月末にかけて、休業や時間短縮を余儀なくされました。とりわけ大型連休を含む5月の営業状況は、終日休業が2店舗、土日休業が14店舗、営業時間短縮が17店舗、通常営業が47店舗と大きな影響を受けました。

このような状況下、当社は、お客様及び従業員の安全を第一に感染症対策を徹底するとともに、今後の中長期的な成長へ向けて、粗利率の向上、宝飾品・オリジナルブランドの販売強化、店舗の販売体制の支援強化、デジタル・IT投資による業務効率の改善、販売員の育成並びにEC(ネット通販)やライブ販売等の非接触型販売の拡大に取り組んでまいりました。

店舗展開といたしましては、2020年12月に北海道北斗市へ上磯店、2021年3月に宮城県に新利府店、同5月に埼玉県に川口店を新規出店いたしました。川口店は、「最高の接客・最新の設備・最大の品揃え」をコンセプトとして、洋食器等の新カテゴリー商品も取り揃えた、当社の旗艦店と位置づけております。また、既存店舗の活性化として、9月に名古屋茶屋店、10月に岡崎店・京都桂川店を同一施設内において移転リニューアル改装するとともに、4月には幕張新都心店の改装を実施し回遊性の向上を図りました。

一方、前年度末に決定いたしました不振店舗の閉店につきまして、2021年1月にLe Bonheur Parfait(以下、パルフェ)イオンレイクタウンmori店・パルフェ春日部店、2月にパルフェ名取店・北谷店、3月にパルフェトレッサ横浜店・パルフェ津田沼パルコ店、4月に昭島モリタウン店の合計7店舗を閉店いたしました。また、川口店の新規出店に合わせまして、イオンモール川口前川の店舗を5月に閉店といたしました。これにより当第3四半期累計期間末における店舗数は80店舗となりました。

営業施策につきましては、非接触型販売の取り組みとして、インターネットを通じたライブ販売を継続的に実施しました。また、対策強化店舗のレイアウト変更を実施し回遊性の改善を図るとともに、30周年記念セール、全店でのクーポンを活用した販促強化、販売スタッフへのインセンティブの機動的運用を図りました。

オリジナルブランドにつきましては、定番商品・人気商品を中心に重点販売商品の販促と宝飾部門の強化及びブランド知名度の向上に努めました。

ECにつきましては、中長期的な自社EC販売の強化を図るべく、自社サイトの改善等を進めております。

商品部門別の売上の状況は以下のとおりです。

- ・宝飾品は、オリジナルブランド商品を中心に重点販売商品の販促を強化するとともに、好調なゴールド関連商品の展開も強化したことにより、売上高 2,841,744千円(前第3四半期累計期間比 21.9%増)となりました。
- ・時計は、国産主力ブランドの展開を強化したほか、海外ブランド時計について重点ブランドを絞った販促企画を強化したことにより、高額品の落ち込みはあったものの、売上高 3,817,603千円(同 7.6%増)となりました。
- ・バッグ・小物は、人気ブランドの新規導入や30周年記念セール等の販促企画を実施し、人気小物商品等の販売強化に取り組んだことにより、一部の主力高額ブランドの落ち込みがあったものの、売上高 7,568,684千円(同 7.9%増)となりました。

(注) 前期4月・5月においては、第1回緊急事態宣言による、全国的な当社店舗の休業が発生しております。

なお、上記のほか、特別損失として、第3回目の緊急事態宣言発令による休業要請により休業した店舗の固定費(人件費・減価償却費) 6,085千円を店舗休業損失として計上したほか、閉店実施店舗の店舗閉鎖損失を 9,759千円計上いたしております。

以上の結果、売上高は 14,228,032千円となり、前年同期売上高 12,887,121千円に対して 10.4%増となりました。営業利益は、新規出店費用が発生したものの不採算店舗の閉鎖によるコスト削減に努めたことで 58,882千円となり、前年同期営業利益 50,420千円に対し 16.7%増となりました。同様に、経常利益は 51,098千円となり、前年同期経常利益 36,022千円に対し 41.8%増となりました。四半期純損益は、上記特別損失の計上もありましたが、四半期純利益 28,034千円となり、前年同期四半期純損失 182,117千円に対し 210,151千円の増加となりました。

なお、当社の業績は、クリスマス時期を中心とした年末年始商戦のウエイトが高くなっているため、四半期決算としては第2四半期の占める比重が高くなっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、8,421,765千円となり、前事業年度末と比較して229,537千円減少しております。これは主として、商品が1,010,025千円増加したものの、現金及び預金が1,244,145千円減少したことが要因であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,799,272千円となり、前事業年度末と比較して30,908千円増加しております。これは主として、敷金及び保証金が33,738千円減少、建設仮勘定が17,776千円減少したものの、建物が40,173千円増加、その他が41,801千円増加したことが要因であります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、3,893,723千円となり、前事業年度末と比較して360,806千円増加しております。これは主として、その他が160,179千円減少したものの、電子記録債務が416,721千円増加したことが要因であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、3,998,180千円となり、前事業年度末と比較して547,705千円減少しております。これは主として、長期借入金が488,024千円減少、長期未払金が67,446千円減少したことが要因であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、2,329,133千円となり、前事業年度末と比較して11,730千円減少しております。これは主として、資本金が7,457千円増加、資本剰余金が10,309千円増加したものの、利益剰余金が31,580千円減少したことが要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で新型コロナウイルス感染症の終息時期の見通しにつきましては、依然不透明な状況にありますが、ワクチン接種の普及に伴って、同感染症拡大の影響は2022年2月にかけて徐々に収束に向かうものと見通しております。よって、当第3四半期累計期間の実績や店舗の営業再開後の状況等をも踏まえて、2021年8月期の通期業績予想を修正し、2021年7月13日に「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,275,349	2,031,204
売掛金	879,232	733,865
商品	4,326,418	5,336,443
貯蔵品	93,915	86,642
その他	76,387	233,610
流動資産合計	8,651,303	8,421,765
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	572,278	612,452
構築物(純額)	7	4
工具、器具及び備品(純額)	194,232	197,611
建設仮勘定	17,776	—
有形固定資産合計	784,295	810,068
無形固定資産		
ソフトウェア	14,333	11,406
無形固定資産合計	14,333	11,406
投資その他の資産		
敷金及び保証金	647,697	613,959
その他	322,036	363,838
投資その他の資産合計	969,734	977,797
固定資産合計	1,768,363	1,799,272
資産合計	10,419,666	10,221,037

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	861,959	911,517
電子記録債務	13,093	429,814
短期借入金	—	99,800
1年内返済予定の長期借入金	1,851,359	1,816,771
未払法人税等	53,936	20,182
賞与引当金	63,000	116,993
ポイント引当金	3,478	4,258
店舗閉鎖損失引当金	20,643	—
資産除去債務	10,880	—
その他	654,566	494,387
流動負債合計	3,532,916	3,893,723
固定負債		
長期借入金	3,996,801	3,508,777
資産除去債務	211,013	218,778
長期未払金	338,071	270,624
固定負債合計	4,545,885	3,998,180
負債合計	8,078,802	7,891,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,597	339,054
資本剰余金	311,433	321,742
利益剰余金	1,640,475	1,608,895
自己株式	△12,533	△10,602
株主資本合計	2,270,972	2,259,090
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12,132	△3,703
評価・換算差額等合計	△12,132	△3,703
新株予約権	82,023	73,746
純資産合計	2,340,863	2,329,133
負債純資産合計	10,419,666	10,221,037

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
売上高	12,887,121	14,228,032
売上原価	9,851,437	10,958,233
売上総利益	3,035,683	3,269,798
販売費及び一般管理費	2,985,262	3,210,915
営業利益	50,420	58,882
営業外収益		
受取利息	26	24
受取配当金	1,218	1,342
受取保険金	929	1,522
助成金収入	2,000	6,000
その他	1,780	2,221
営業外収益合計	5,955	11,110
営業外費用		
支払利息	19,803	18,317
その他	550	576
営業外費用合計	20,353	18,894
経常利益	36,022	51,098
特別利益		
雇用調整助成金	—	521
特別利益合計	—	521
特別損失		
固定資産廃棄損	58	4,247
減損損失	141,335	—
店舗閉鎖損失	5,107	9,759
店舗休業損失	114,952	6,085
特別損失合計	261,454	20,093
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△225,431	31,527
法人税、住民税及び事業税	15,092	15,211
法人税等調整額	△58,405	△11,718
法人税等合計	△43,313	3,492
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△182,117	28,034

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。